



安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

| | | | |
|-------|------------|------|------------|
| SDS番号 | 34-9446-5 | 版 | 5.00 |
| 発行日 | 2022/10/31 | 前発行日 | 2021/03/10 |

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

スコッチ 超強力接着剤プレミアゴールドスーパー多用途2 ブラック

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤

1.3. 会社情報

| | |
|------|--------------------|
| 供給者 | スリーエム ジャパン株式会社 |
| 所在地 | 本社 東京都品川区北品川6-7-29 |
| 担当部門 | コンシューマービジネスグループ |
| 電話番号 | 042-779-2173 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分4

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

| | |
|------|----------------------------------|
| H227 | 引火性液体 |
| H351 | 発がんのおそれの疑い |
| H373 | 長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 免疫系。 |

注意書き

一般：

| | |
|------|----------------------------------|
| P102 | 子供の手の届かないところに置くこと。 |
| P101 | 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。 |

安全対策

| | |
|-------|----------------------------------|
| P201 | 使用前に取扱説明書を入手すること。 |
| P202 | 安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。 |
| P210A | 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 |
| P260 | 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 |
| P280E | 保護手袋を着用すること。 |

応急措置

| | |
|--------------|---|
| P308 + P313 | ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 |
| P370 + P378G | 火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。 |

保管

| | |
|------|-----------------|
| P403 | 換気の良い場所で保管すること。 |
| P405 | 施錠して保管すること。 |

廃棄

| | |
|------|------------------------------------|
| P501 | 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。 |
|------|------------------------------------|

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|----------|-----------|---------|
| 変性シリコン | 営業秘密 | 65 - 75 |
| 無機化合物 | 営業秘密 | 25 - 35 |
| カーボンブラック | 1333-86-4 | 1 - 5 |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 0 - 1 |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 2.6 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気的环境下に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

応急処置は不要。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場

所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。指定された個人保護具を使用する。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|----------|-----------|-----------|--|-----------------------|
| カーボンブラック | 1333-86-4 | ACGIH | TWA（吸入性分画）：3mg/m ³ | A3：動物発がん性物質 |
| カーボンブラック | 1333-86-4 | JSOH OELs | TWA（総粉じん）（8時間）：4mg/m ³ ；TWA（吸入性粉じん）（8時間）：1mg/m ³ | 2B：ヒトに対して発がん性の可能性がある。 |
| メチルアルコール | 67-56-1 | ACGIH | TWA：200ppm、STEL：250ppm | 皮膚吸収の危険性。 |
| メチルアルコール | 67-56-1 | ISHL | TLV（8時間）：200 ppm | |
| メチルアルコール | 67-56-1 | JSOH OELs | TWA（8時間）：260 mg/m ³ （200 ppm） | 皮膚 |

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形あるいは全面形送気マスク。

有機ガス用マスクは使用可能時間が比較的短い。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|---------------|-------------------------|
| 外観 | 液体 |
| 物理的状態: | ペースト |
| 色 | 白色 |
| 臭い | 無臭 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | データはない。 |
| 融点・凝固点 | データはない。 |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | 適用しない |
| 引火点 | 70 °C [試験方法: クローズドカップ法] |
| 蒸発速度 | 適用しない |
| 引火性 (固体、ガス) | 適用しない |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |
| 燃焼点 (上限) | データはない。 |
| 蒸気圧 | 適用しない |
| 蒸気密度/相対蒸気密度 | 適用しない |
| 密度 | 1.35 g/cm ³ |
| 比重 | 1.35 [参照基準: 水=1] |

| | |
|---|-----------------|
| 溶解度 | なし。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度/動粘度 | 1,000,000 mPa-s |
| 揮発性有機化合物 | データはない。 |
| 揮発分 | データはない。 |
| 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない) | データはない。 |
| モル重量 | 適用しない |

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

火花ないし炎

混触危険物質

水

危険有害な分解物

物質

ホルムアルデヒド

条件

特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

硬化時に放出される蒸気は眼を刺激するおそれがある。症状は発赤、浮腫、痛み、涙及び眼のくもりあるいはかすみ目。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

免疫学的影響：循環免疫細胞数の変化、アレルギー性皮膚反応、アレルギー性呼吸器反応、免疫能の変化などが含まれる。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|----------|-------|-----|--------------------------------|
| 製品全体 | 皮膚 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| 製品全体 | 経口摂取 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| カーボンブラック | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 3,000 mg/kg |
| カーボンブラック | 経口摂取 | ラット | LD50 > 8,000 mg/kg |
| 有機スズ化合物 | 皮膚 | ラット | LD50 > 2,000 mg/kg |
| 有機スズ化合物 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 2,000 mg/kg |
| メチルアルコール | 皮膚 | | LD50 推定値 1,000 - 2,000 mg/kg |
| メチルアルコール | 吸入－蒸気 | | LC50 推定値 10 - 20 mg/l |
| メチルアルコール | 経口摂取 | | LD50 推定値 50 - 300 mg/kg |

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|----------|-----|---------|
| カーボンブラック | ウサギ | 刺激性なし |

| | | |
|----------|-----|--------|
| 有機スズ化合物 | ウサギ | わずかな刺激 |
| メチルアルコール | ウサギ | 軽度の刺激 |

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|----------|-----|---------|
| カーボンブラック | ウサギ | 刺激性なし |
| 有機スズ化合物 | ウサギ | 刺激性なし |
| メチルアルコール | ウサギ | 中程度の刺激 |

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|----------|-------|-----------|
| 有機スズ化合物 | マウス | 区分に該当しない。 |
| メチルアルコール | モルモット | 区分に該当しない。 |

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 |
|----------|----------|--------------------|
| カーボンブラック | In vitro | 変異原性なし |
| カーボンブラック | In vivo | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| 有機スズ化合物 | In vitro | 変異原性なし |
| メチルアルコール | In vitro | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| メチルアルコール | In vivo | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |

発がん性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|----------|--------|---------|---------|
| カーボンブラック | 皮膚 | マウス | 発がん性なし |
| カーボンブラック | 経口摂取 | マウス | 発がん性なし |
| カーボンブラック | 吸入した場合 | ラット | 発がん性 |
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 多種類の動物種 | 発がん性なし |

生殖毒性

生殖発生影響

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|----------|--------|---------------------|-----|---------------------|-------|
| メチルアルコール | 経口摂取 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1,600 mg/kg/日 | 21日 |
| メチルアルコール | 経口摂取 | 発生機能に有毒 | マウス | LOAEL 4,000 mg/kg/日 | 器官発生期 |
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 発生機能に有毒 | マウス | NOAEL 1.3 mg/l | 器官発生期 |

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|----------|--------|----------|--------------------|-----|-----------|----------|
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 失明 | 臓器への影響 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 非該当 |
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ラット | NOAEL 非該当 | 6 時間 |
| メチルアルコール | 経口摂取 | 失明 | 臓器への影響 | ヒト | NOAEL 非該当 | 中毒ないし乱用時 |
| メチルアルコール | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 中毒ないし乱用時 |

特定標的臓器毒性、反復ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|----------|--------|--|---------------------------|-----|-----------------------|--------|
| カーボンブラック | 吸入した場合 | 塵肺症 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| 有機スズ化合物 | 経口摂取 | 免疫システム | 長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。 | ラット | LOAEL 10 mg/kg/day | 28 日 |
| 有機スズ化合物 | 経口摂取 | 肝臓 心臓 内分泌系 消化管 骨、歯、爪及び /又は毛髪 造血器系 筋肉 神経系 眼 腎臓 および膀胱 呼吸器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 100 mg/kg/day | 28 日 |
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 6.55 mg/l | 4 週 |
| メチルアルコール | 吸入した場合 | 呼吸器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 13.1 mg/l | 6 週 |
| メチルアルコール | 経口摂取 | 肝臓 神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 2,500 mg/kg/day | 90 日 |

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

| 材料 | CAS番号 | 生物種 | 種類 | ばく露 | テストエンドポイント | 試験結果 |
|----------|-----------|-------------|---------------------------|-------|---------------------|-------------|
| カーボンブラック | 1333-86-4 | 液状化 | 実験 | 3 時間 | EC50 | >=100 mg/l |
| カーボンブラック | 1333-86-4 | 該当なし | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 液状化 | 実験 | 3 時間 | IC50 | >1,000 mg/l |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 藻類または他の水生植物 | 実験 | 96 時間 | EC50 | 16.9 mg/l |
| メチルアルコール | 67-56-1 | ブルーギル | 実験 | 96 時間 | LC50 | 15,400 mg/l |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 緑藻類 | 実験 | 96 時間 | EC50 | 22,000 mg/l |
| メチルアルコール | 67-56-1 | ミジンコ | 実験 | 24 時間 | EC50 | 20,803 mg/l |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 藻類または他の水生植物 | 実験 | 96 時間 | NOEC | 9.96 mg/l |
| メチルアルコール | 67-56-1 | ミジンコ | 実験 | 21 日 | NOEC | 122 mg/l |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 鯉 | 実験 | 96 時間 | 水への溶解限界において毒性は見られない | >100 mg/l |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | 水への溶解限界において毒性は見られない | >100 mg/l |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | 水への溶解限界において毒性は見られない | >100 mg/l |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | 水への溶解限界において毒性は見られない | 100 mg/l |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 液状化 | 実験 | 3 時間 | EC50 | >1,000 mg/l |

残留性・分解性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|----------|-----------|------------|------|-----------|---------------------|------------------------------|
| カーボンブラック | 1333-86-4 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 実験 生分解性 | 14 日 | 生物学的酸素要求量 | 92 %BOD/ThOD | OECD 301C-MITI(1) |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 実験 生分解性 | 29 日 | 二酸化炭素の発生 | 12 CO2発生量/理論CO2発生量% | OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素 |
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 加水分解物 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 2 %BOD/ThOD | OECD 301F |

生体蓄積性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|----------|-----------|---------------------------|------|----------|-------|-------|
| カーボンブラック | 1333-86-4 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| メチルアルコール | 67-56-1 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 | -0.77 | |

| | | | | | | |
|---------|------|---------------------------|------|--------------|------|------|
| 有機スズ化合物 | 営業秘密 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 分配係数 該当なし | 該当なし | 該当なし |
|---------|------|---------------------------|------|--------------|------|------|

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令18条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

化管法：第1種指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

| 成分 | 安衛法政令番号 |
|----------|----------------|
| 有機スズ化合物 | 322（すず及びその化合物） |
| メチルアルコール | 560（メタノール） |
| カーボンブラック | 130（カーボンブラック） |

化管法

| 成分 | 政令名称 | 管理番号 | 分類（2023年3月31日まで） | 分類（2023年4月1日以降） |
|---------|---------|------|------------------|-----------------|
| 有機スズ化合物 | 有機スズ化合物 | 664 | 第1種指定化学物質 | 第1種指定化学物質 |

16. その他の情報

改訂情報

- セクション1：製品用途 情報の追加.
- セクション2：GHS分類 情報修正.
- セクション2：有害性ステートメント - 区分2 特定標的臓器毒性、反復暴露 情報修正.
- セクション2：健康有害性 情報修正.
- セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
- セクション2：絵表示 情報修正.
- セクション2：注意書き - 一般 情報修正.
- セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.
- セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション2：注意喚起語 情報修正.
- セクション2：シンボル 情報修正.
- セクション3：成分表 情報修正.
- 項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
- セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置(皮膚の接触した場合)の情報 情報修正.
- セクション5：火災時情報(消火剤) 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション7：貯蔵情報 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション8：職業暴露情報 情報修正.
- セクション8：眼の保護具 情報の追加.
- セクション8：眼および顔面保護 情報の削除.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報の削除.
- セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.
- セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の削除.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の削除.
- セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
- セクション9：蒸発速度情報 情報修正.
- セクション9：燃焼性(固体、ガス)情報 情報修正.
- セクション9：引火点情報 情報修正.
- セクション9：揮発分 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報修正.
- セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
- セクション9：蒸気圧 情報修正.
- セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション9：揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション11：発がん性の表 情報修正.
- セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション11：健康影響情報(眼) 情報修正.
- セクション11：健康影響情報(飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション11：健康影響情報(吸入した場合) 情報修正.
- セクション11：健康影響情報(皮膚) 情報修正.

- セクション1 1：長時間又は反復暴露した場合の標準フレーズ 情報修正.
- セクション1 1：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション1 1：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション1 1：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション1 1：皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション1 1：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション1 2：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション1 2：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション1 2：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション1 4：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション1 5：労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション1 5：法規名 - 表 情報の削除.
- セクション1 5：化管法の表 情報の追加.
- セクション1 5：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。